

■平成 23 年度用高等学校理科 高等学校 化学Ⅱ 改訂版 (化Ⅱ011)

平成 24 年度用教科書につきまして以下のように訂正いたします。ご迷惑をお掛け致しますこと、謹んでお詫び申し上げますと共に、ご指導に際しまして、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
頁	行			
9	図7	(図中文字) 5.60×10^{-10} m 4.10×10^{-10} m	5.64×10^{-10} m 4.12×10^{-10} m	誤記
197	21	鉄粉20 <u>cm³</u> と	鉄粉20 <u>g</u> と	誤植
313	表	(²² Tiの単体の密度) <u>4.50</u>	<u>4.54</u>	誤記

改善のための訂正

訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
頁	行			
前見返し		(キャプション) <u>最新(2009年)</u> 日本化学会原子量 <u>小</u> 委員会	<u>最新(2011年)</u> 日本化学会原子量 <u>専門</u> 委員会	客観的事項の変更 (日本化学会原子量専門委員会 (前小委員会)「原子量表(2011)」)
後見返し		(³² Geの原子量) <u>72.64</u>	<u>72.63</u>	
		(112番元素コペルニシウムCn(原子量285), 放射性元素)を追加)		
16	脚注*1	各原子のイオン化エネルギーと電子親和力から求めることができる。ポーリングが定めた値が一般によく用いられる。	結合エネルギー(→p.20)を <u>基</u> に定義したポーリングの値と、イオン化エネルギーと電子親和力を <u>基</u> に定義したマリケンの値がよく知られる。図11はポーリングの値による。	電気陰性度は、ポーリングの値とマリケンの値では求め方が異なるため
68	4-5	親水基を外側に向けて <u>多数</u> が集まった	親水基を外側に向けて集まった	条件により十数個の場合も存在するため
136	4	インベルターゼ(スクラーゼ)	インベルターゼ (<u>またはスクラーゼ</u>)	インベルターゼ(サッカラーゼ)とスクラーゼでは、反応物と生成物は同じでも、反応機構が異なるため
159	表4	(表中文字) (スクラーゼ)	(<u>またはスクラーゼ</u>)	
217	表2	(表中文字) (インベルターゼ)	(<u>またはインベルターゼ</u>)	